

2016～2020年
静岡県
全国がん登録の概要

2025年7月

静岡県健康福祉部医療局疾病対策課

目 次

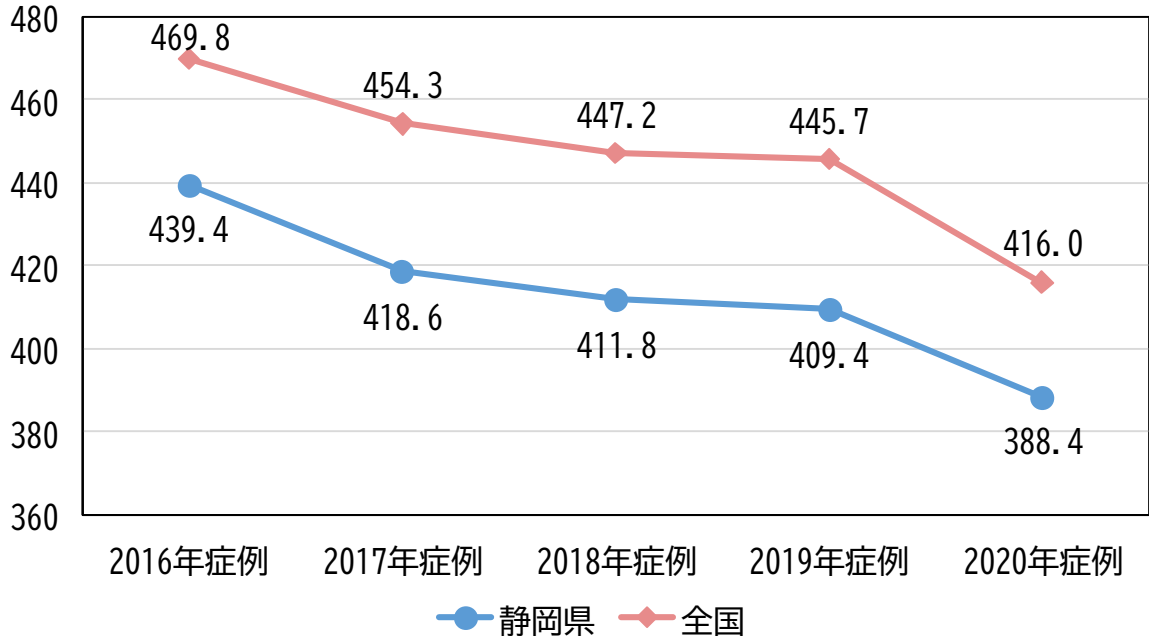
第1章 静岡県のがん統計の概要.....	1
1 年齢調整罹患率（人口10万人当たり）.....	1
2 部位別年齢調整罹患率（人口10万人当たり）.....	2
3 標準化罹患比（対県）2016年－2020年 全がん.....	3
4 年齢調整死亡率（人口10万人当たり）.....	4
5 発見経緯.....	6
6 総合進展度（病期）.....	8
7 5年相対生存率.....	10
第2章 静岡県のがん登録事業.....	12
1 静岡県におけるがん登録事業の経緯.....	12
2 全国がん登録事業の概要.....	12
3 調査票.....	14
4 登録対象の範囲.....	17
5 用語等の解説.....	18
付録 2016～2020年症例標準集計表	
2016年症例標準集計表	
2017年症例標準集計表	
2018年症例標準集計表	
2019年症例標準集計表	
2020年症例標準集計表	

第1章 静岡県のがん統計の概要

1 年齢調整罹患率（人口10万人当たり）

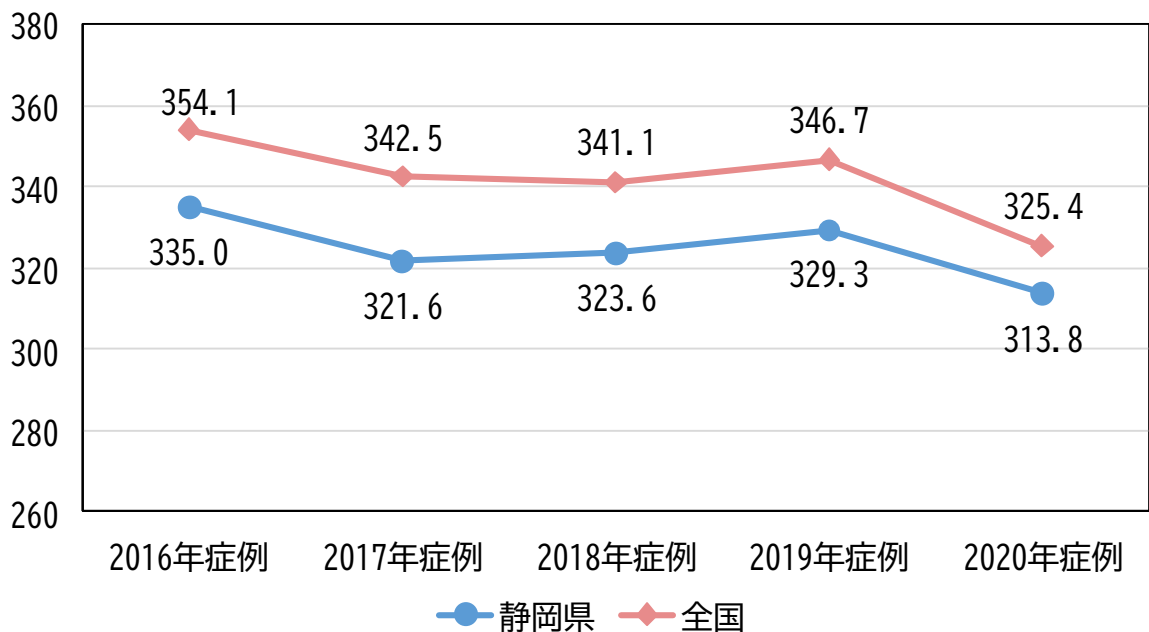
(1) 全がん 男性

全国、静岡県ともに罹患率は減少傾向にある。また、静岡県は全国に比べて罹患率が7～8%程度低い傾向にある。



(2) 全がん 女性

全国、静岡県ともに罹患率は減少傾向にある。また、静岡県は全国に比べて罹患率が4～6%程度低い傾向にある。

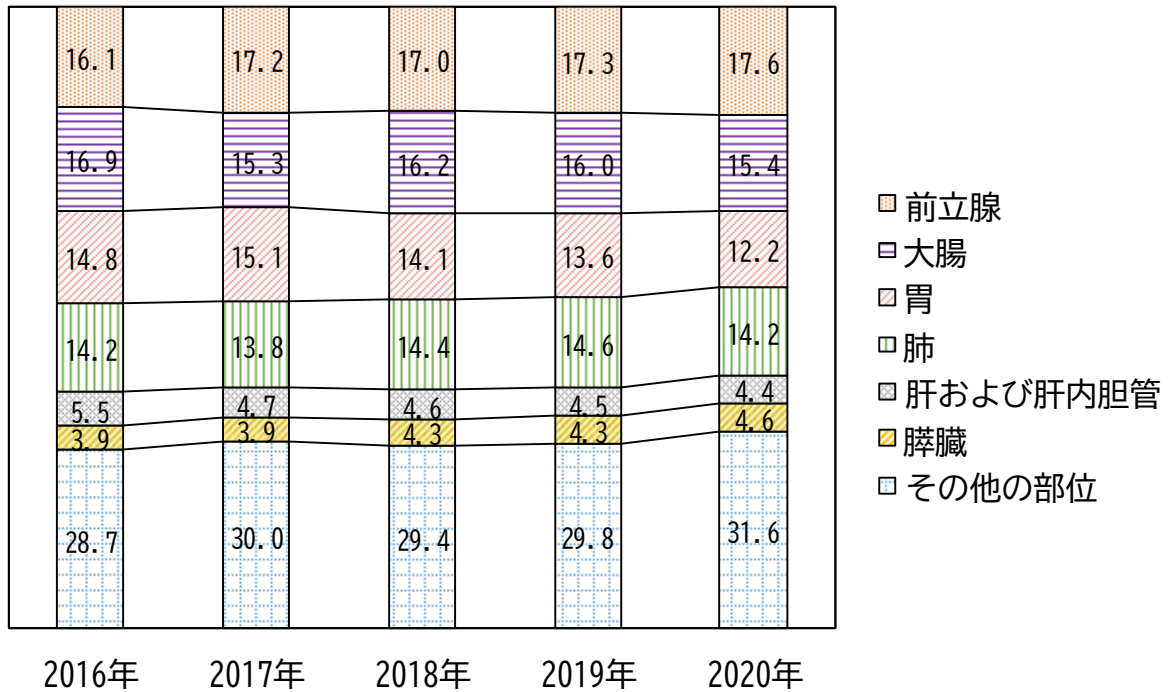


出典：全国がん登録

2 部位別年齢調整罹患率（人口 10 万人当たり）

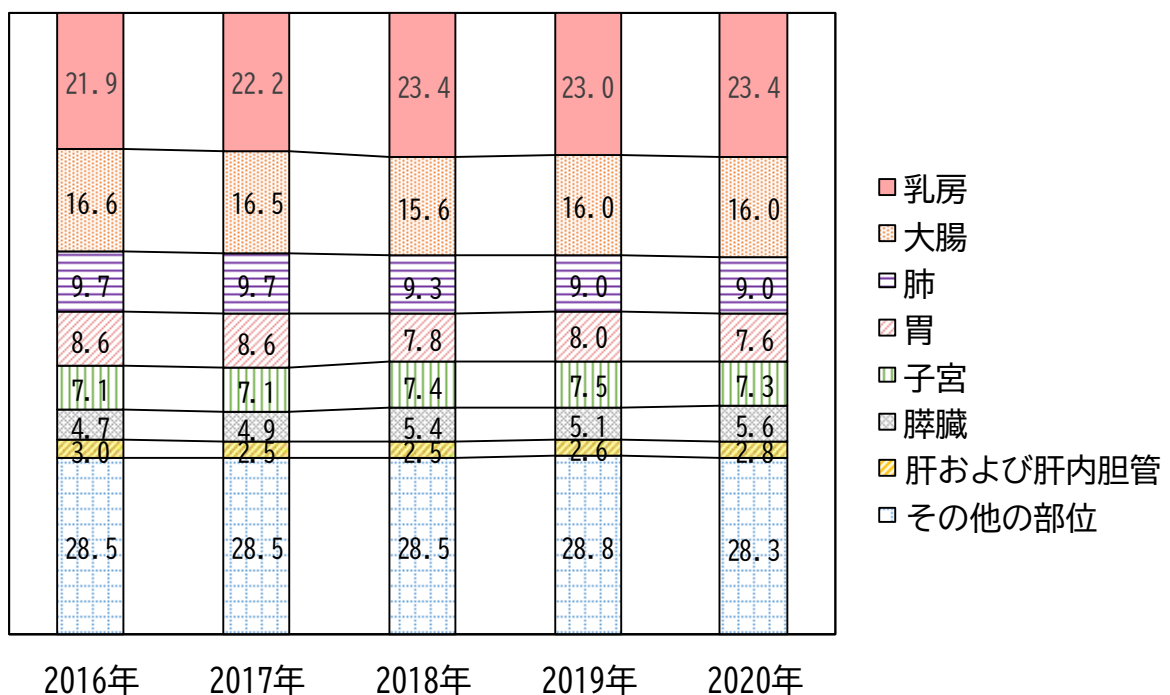
(1) 男性

男性の罹患は、前立腺、大腸、肺の割合が高くなっている。2016年～2020年における各がんの割合は、おおむね横ばいで推移している。



(2) 女性

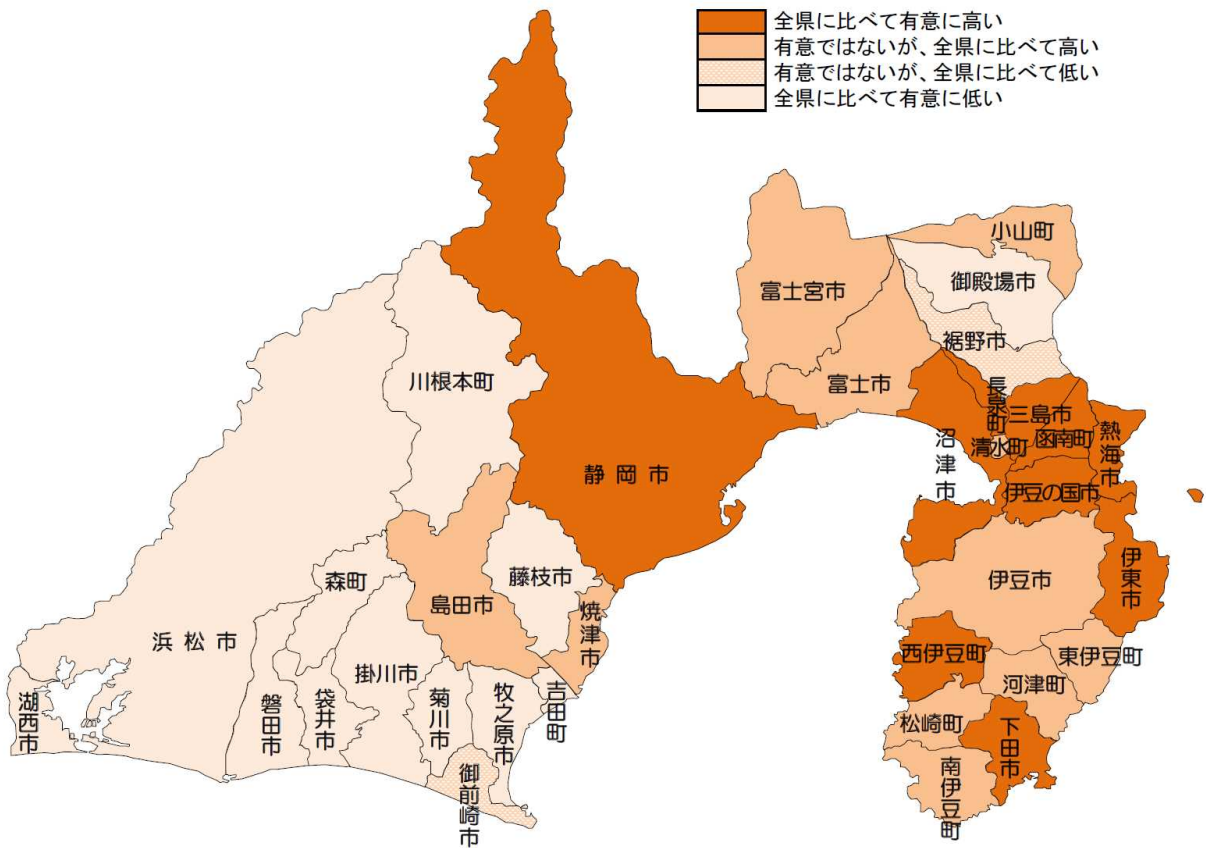
女性の罹患は、乳房の割合が特に高くなっており、大腸や肺の割合も高い。2016年～2020年における各がんの割合は、おおむね横ばいで推移している。



出典：全国がん登録

3 標準化罹患比（対県）2016年－2020年 全がん

標準化罹患比は、静岡市や県東部、伊豆地域を中心に高くなっている。県東部では御殿場市や裾野市のように一部低い地域がある。県西部は全体的に低くなっている。



標準化罹患比：年齢構成の異なる地域間で罹患状況の比較ができるように年齢構成を調整し、揃えた場合の罹患率を比較したもの

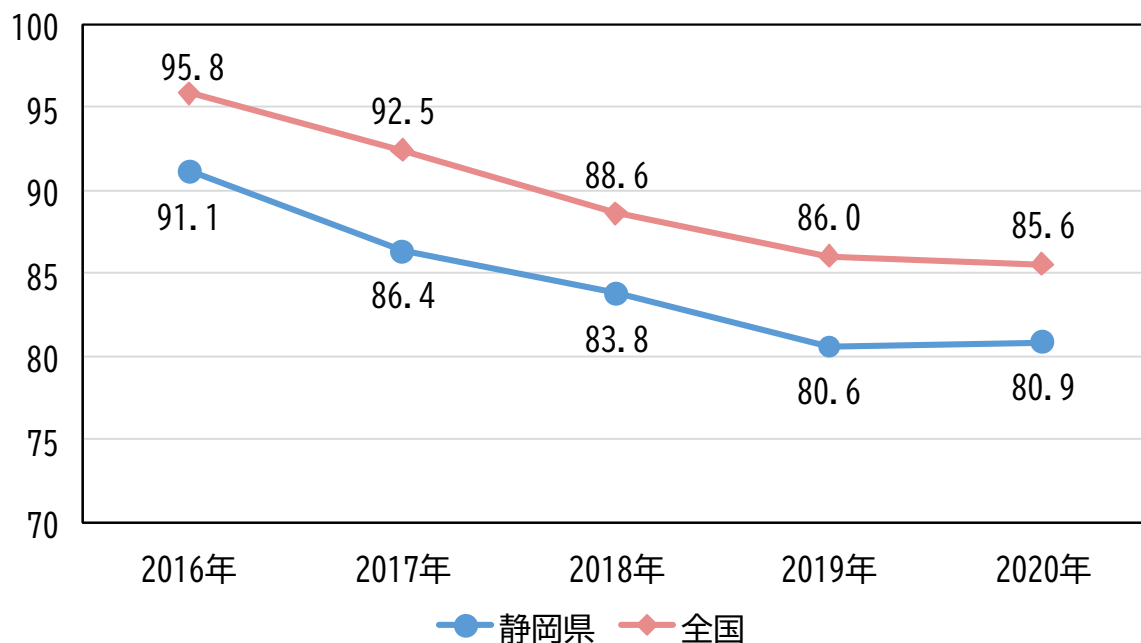
有意：統計的に差があること

出典：全国がん登録情報から県疾病対策課で算出

4 年齢調整死亡率（人口10万人当たり）

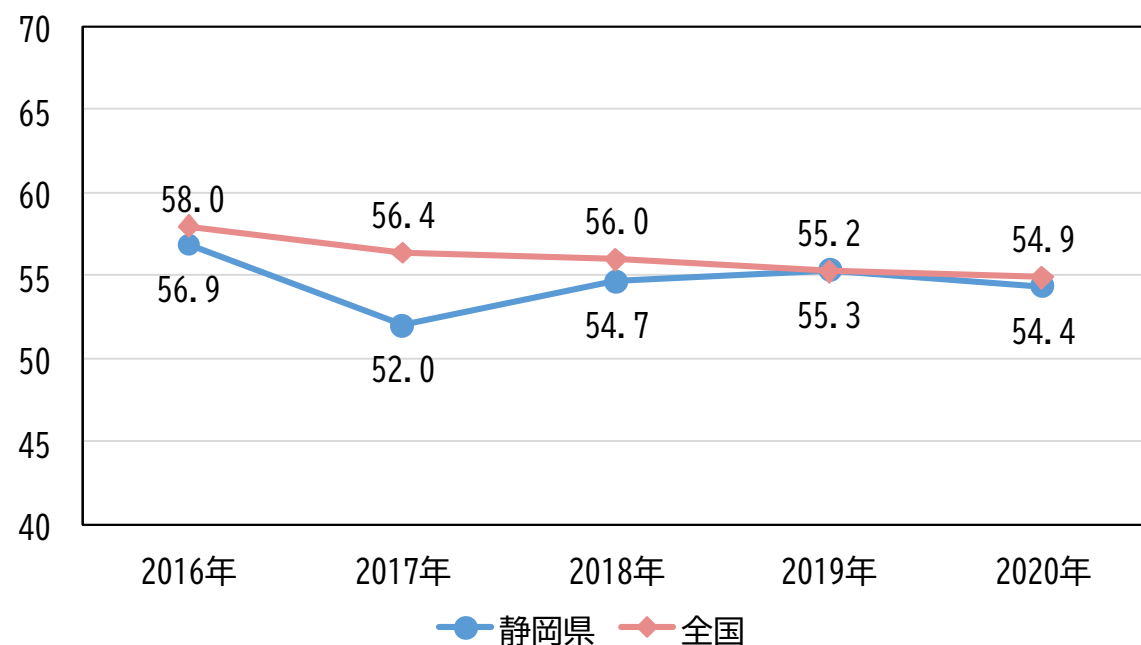
(1) 全がん 男性

全国、静岡県ともに死亡率は減少傾向にある。また、静岡県は全国に比べて死亡率が5～7%程度低い傾向にある。



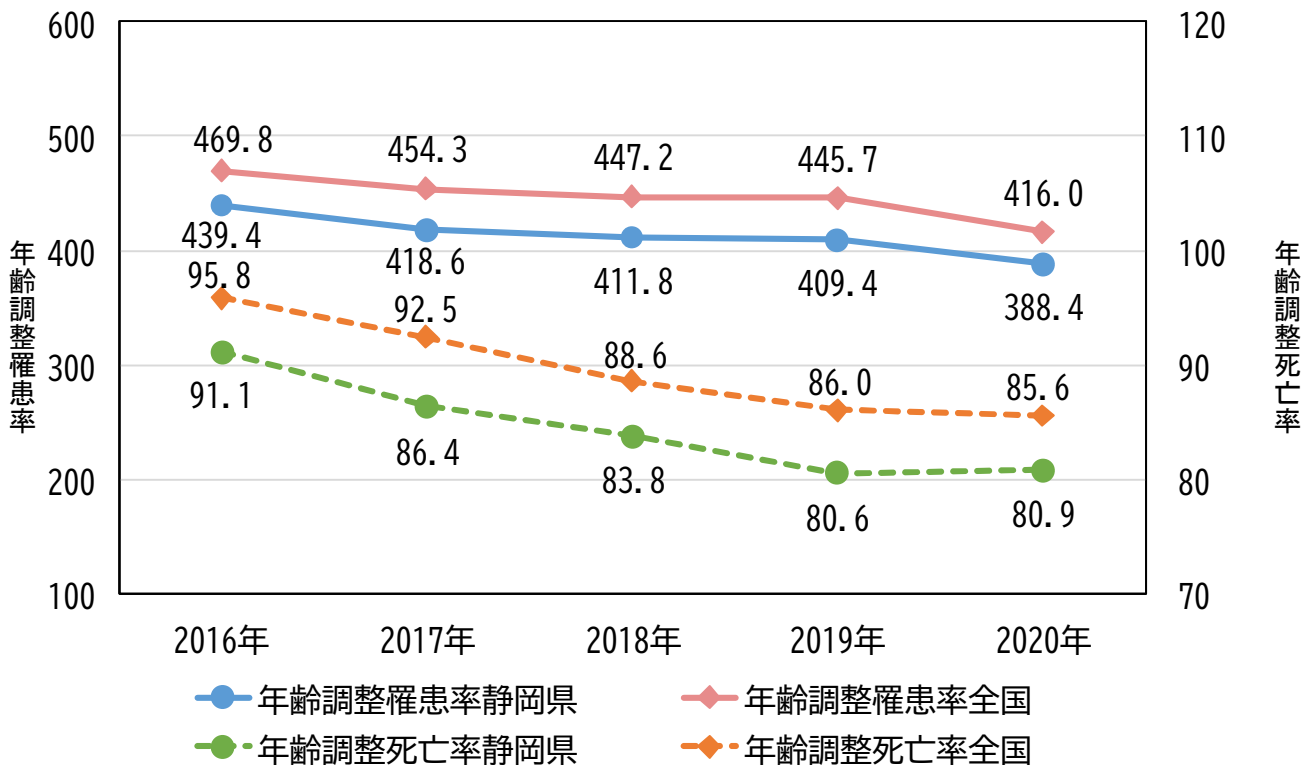
(2) 全がん 女性

全国、静岡県ともに死亡率は減少傾向にある。また、静岡県は近年全国と同水準にある。

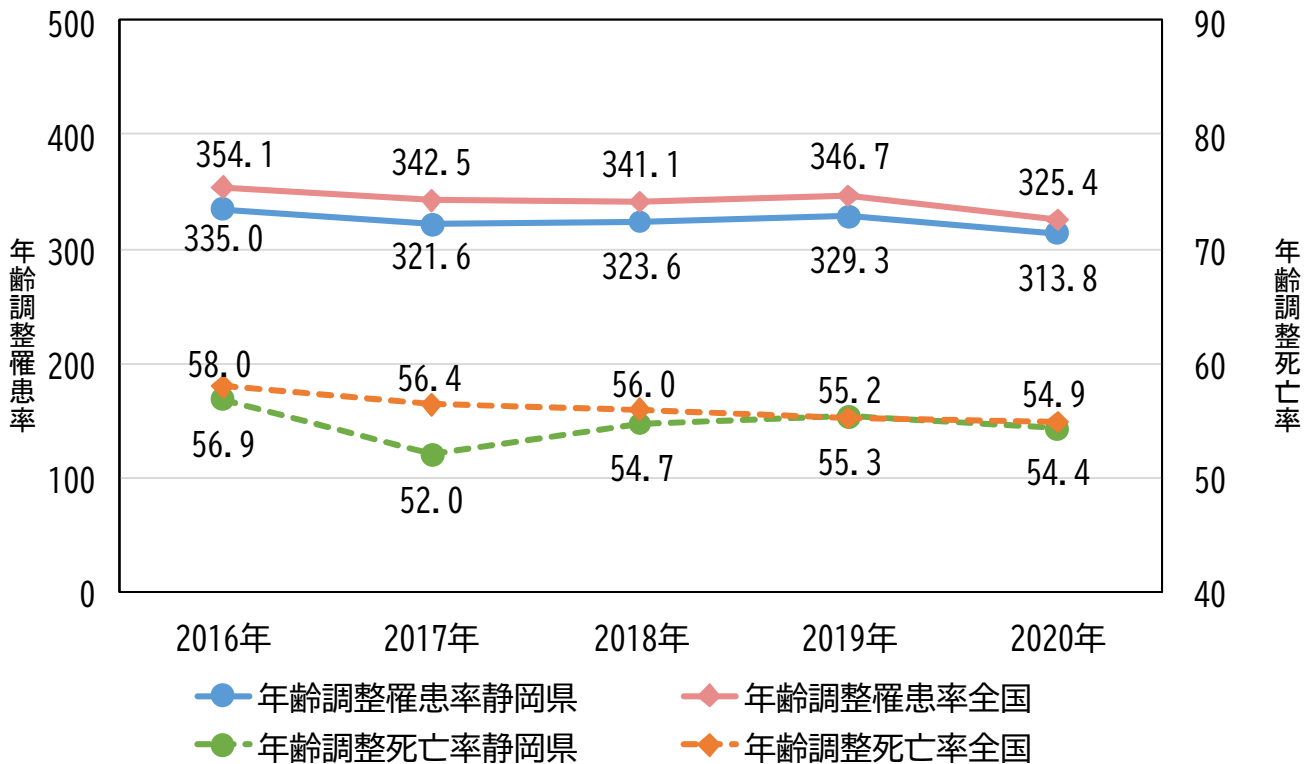


出典：人口動態統計

参考 年齢調整罹患率と年齢調整死亡率の推移（人口10万人当たり）
全がん 男性



全がん 女性

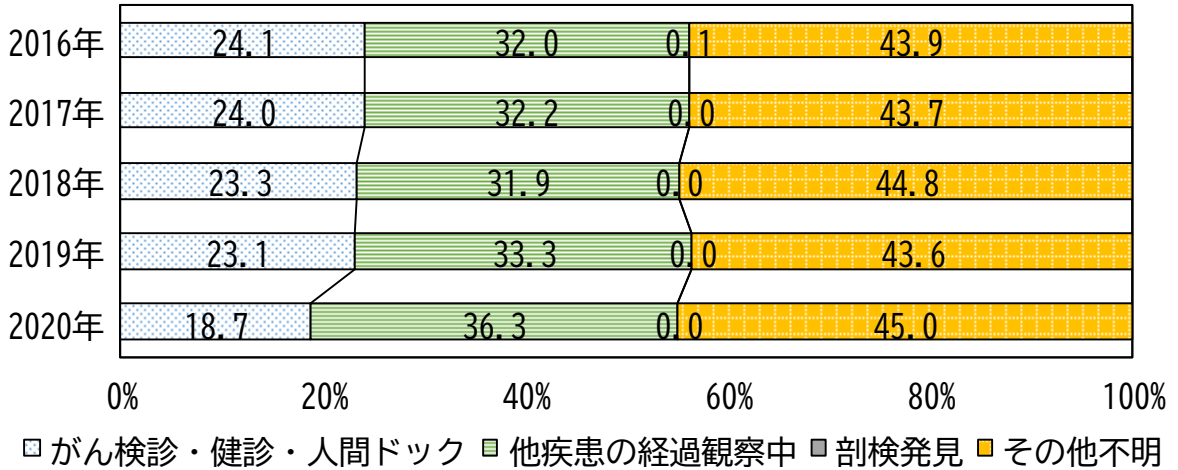


出典：人口動態統計、全国がん登録

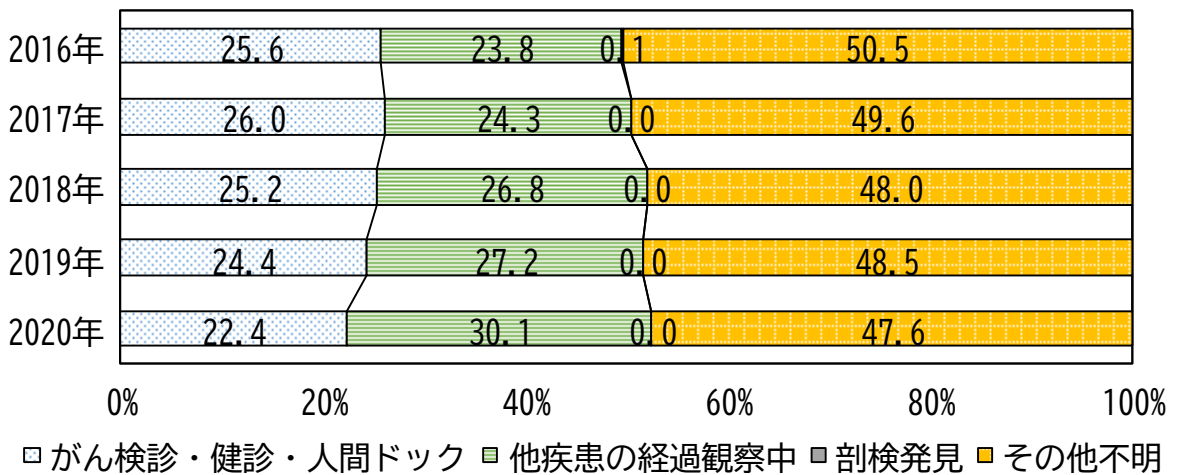
5 発見経緯

一般に住民検診が実施されている胃、肺、大腸、子宮頸部、乳房のがんにおいて、がん検診もしくは健康診断や人間ドックが発見の契機となった症例の割合は、2016年では胃24.1%、大腸25.6%、肺18.5%、乳房29.8%、子宮頸部33.2%であったが、その後減少傾向にある。

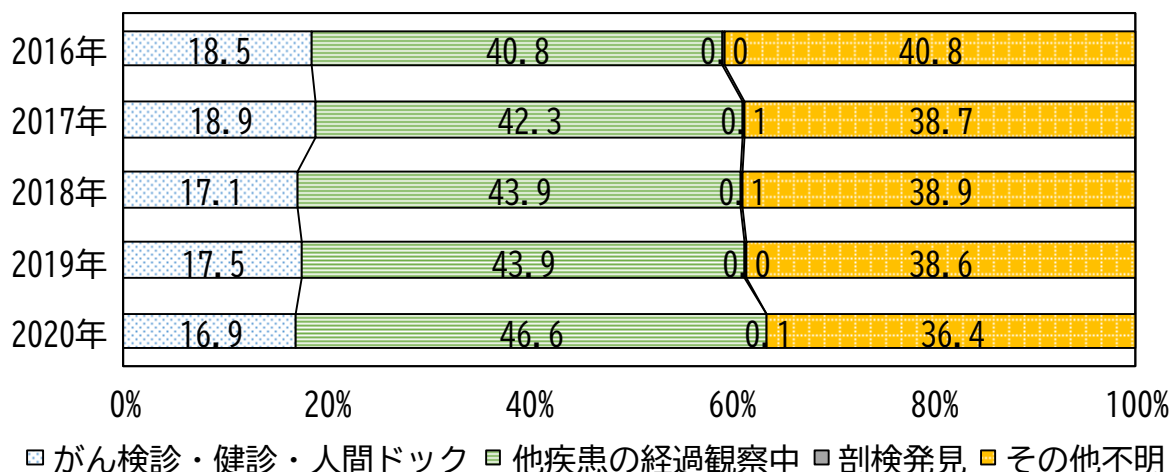
(1) 胃



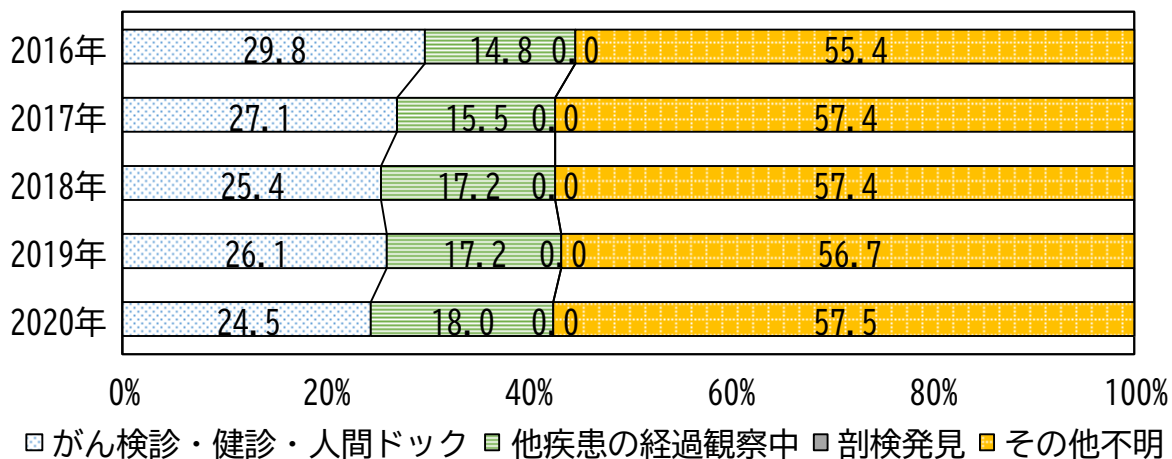
(2) 大腸（結腸・直腸）（上皮内がんを含む）



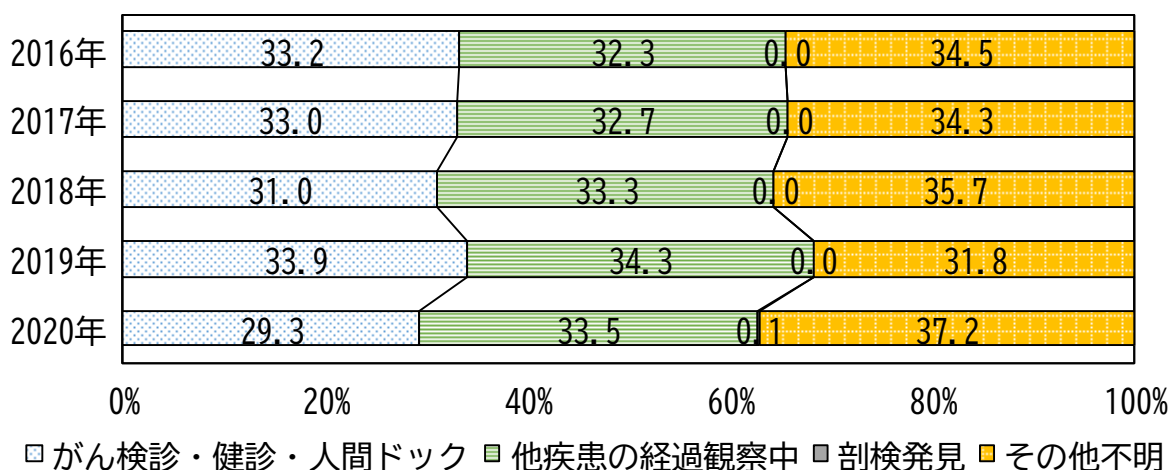
(3) 肺（上皮内がんを含む）



(4) 乳房（女性のみ）（上皮内がんを含む）



(5) 子宮頸部（上皮内がんを含む）



出典：全国がん登録

※ 「がん検診・健診・人間ドック」とは、市区町村が実施する「がん検診」の他、老人健康診査や自主的に受診する健康診断、あるいは人間ドックでの結果により、医療機関を受診したものを指す。

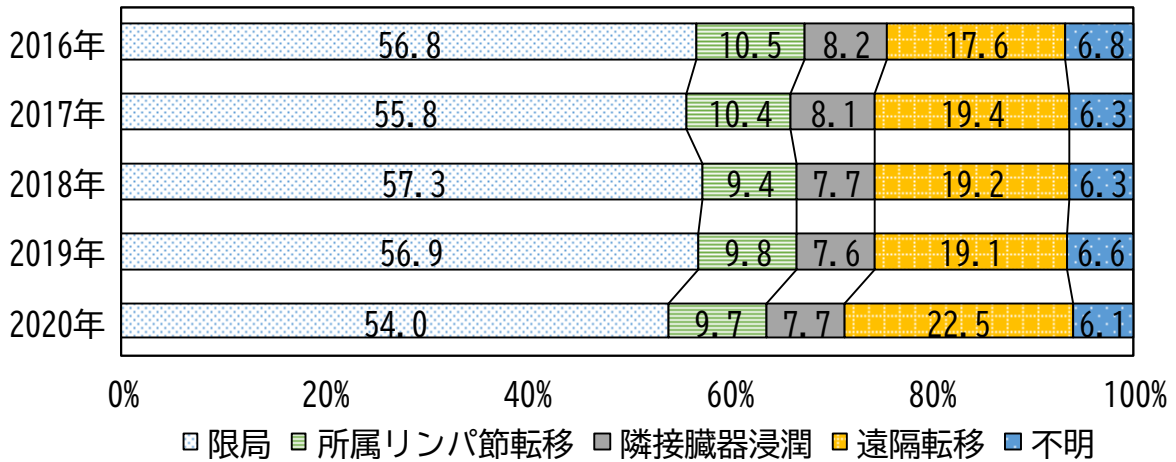
※ 「他疾患の経過観察中」とは、他の疾患で実施された検査などにより、偶然発見されたものを指す。

※ 「その他不明」には、自覚症状による受診を含む。

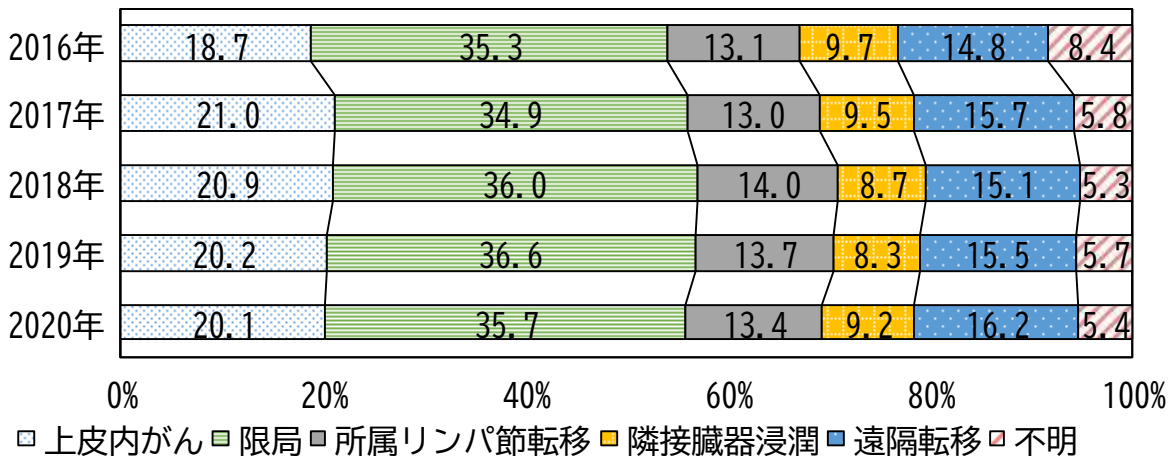
6 総合進展度（病期）

2016年から2020年までの5年間における部位ごとの発見時の病期を比較してみると、各部位ともおおむね横ばいで推移している。発見時の病期が、「上皮内がん」及び「限局」の割合は、胃、大腸、乳房の各がんでは5割から6割程度、子宮頸部で約8割と比較的高いが、肺では約3割と比較的低い。

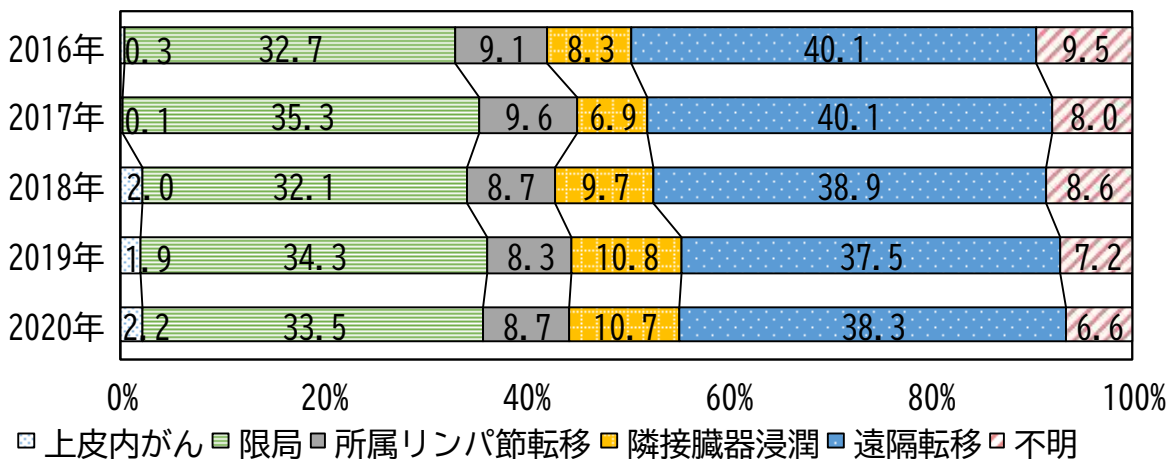
(1) 胃



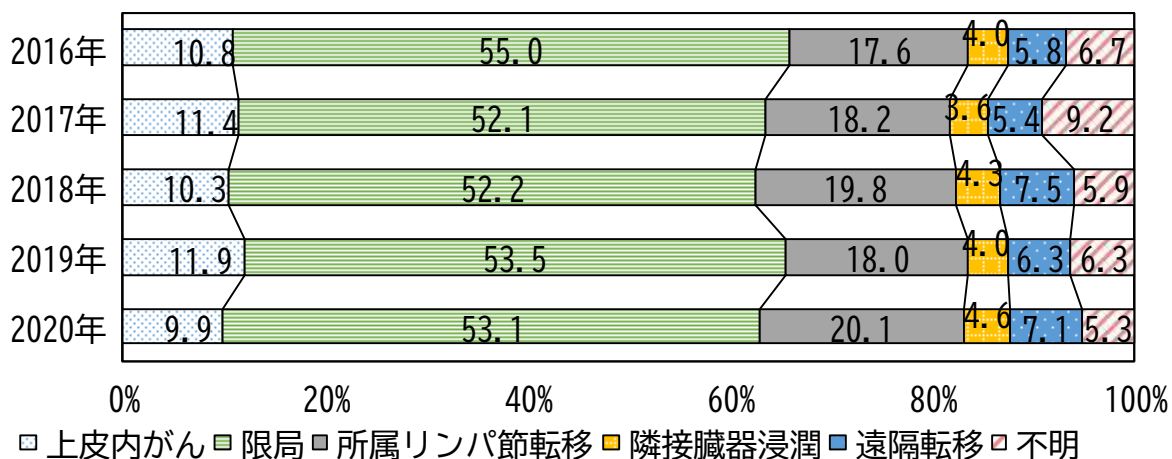
(2) 大腸（結腸・直腸）（上皮内がんを含む）



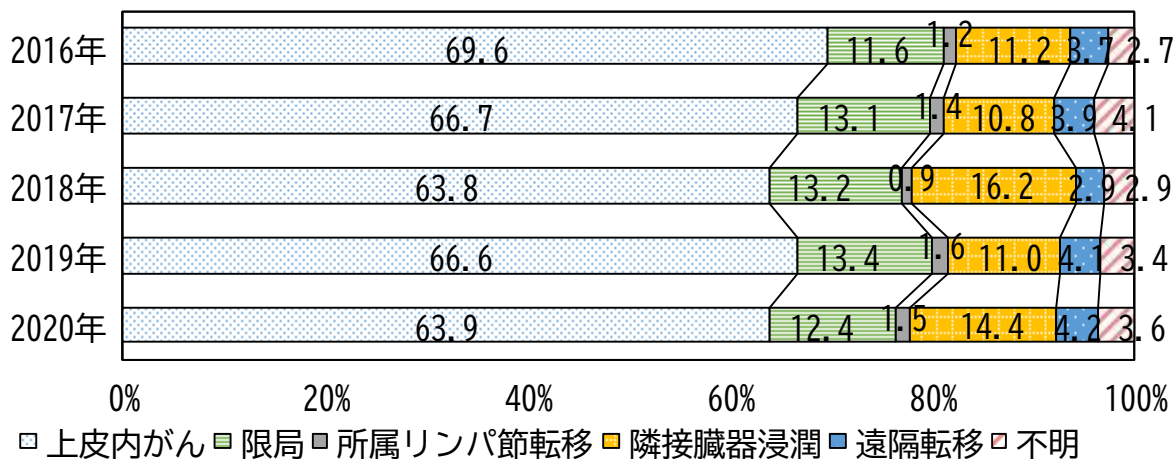
(3) 肺（上皮内がんを含む）



(4) 乳房（女性のみ）（上皮内がんを含む）



(5) 子宮頸部（上皮内がんを含む）

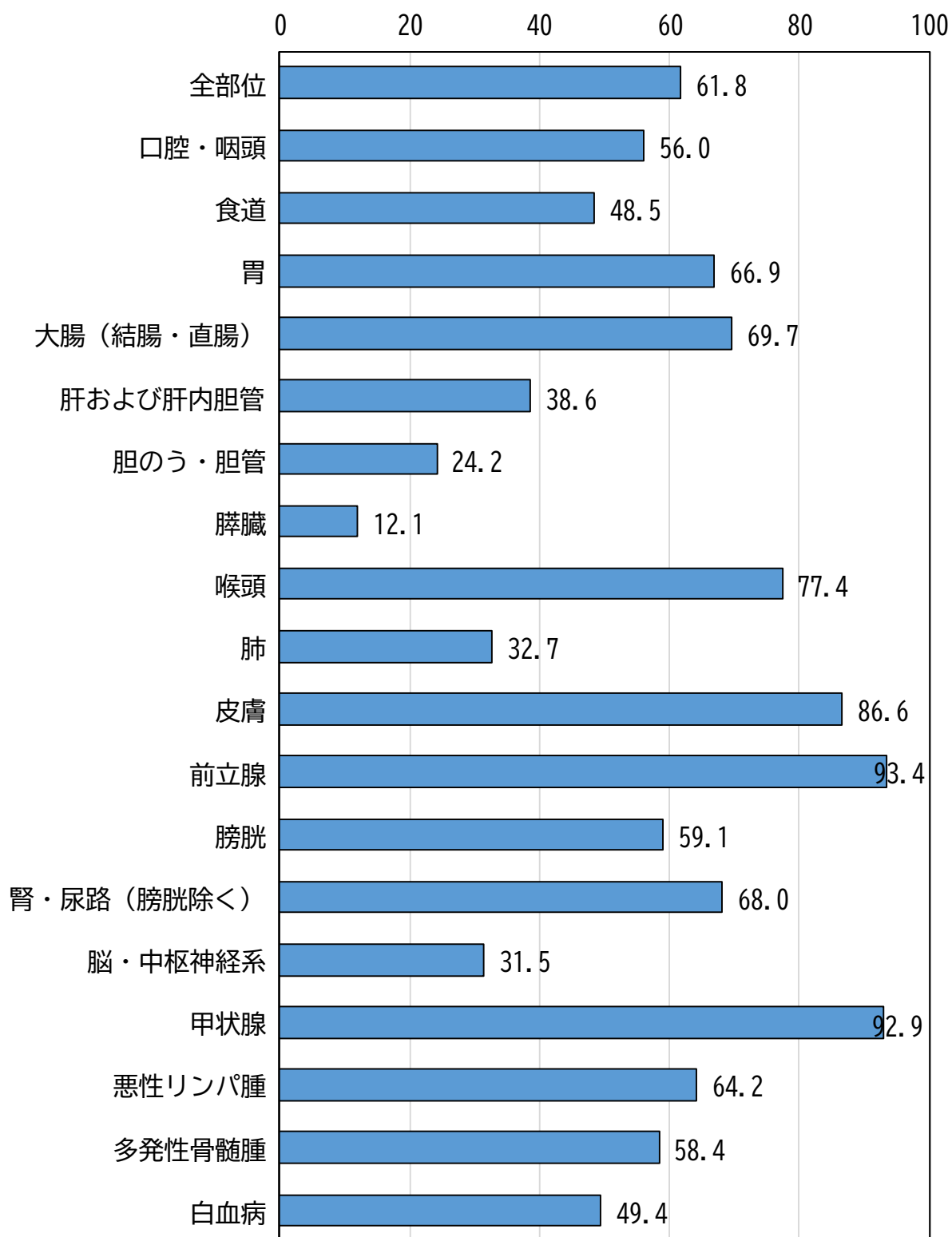


出典：全国がん登録

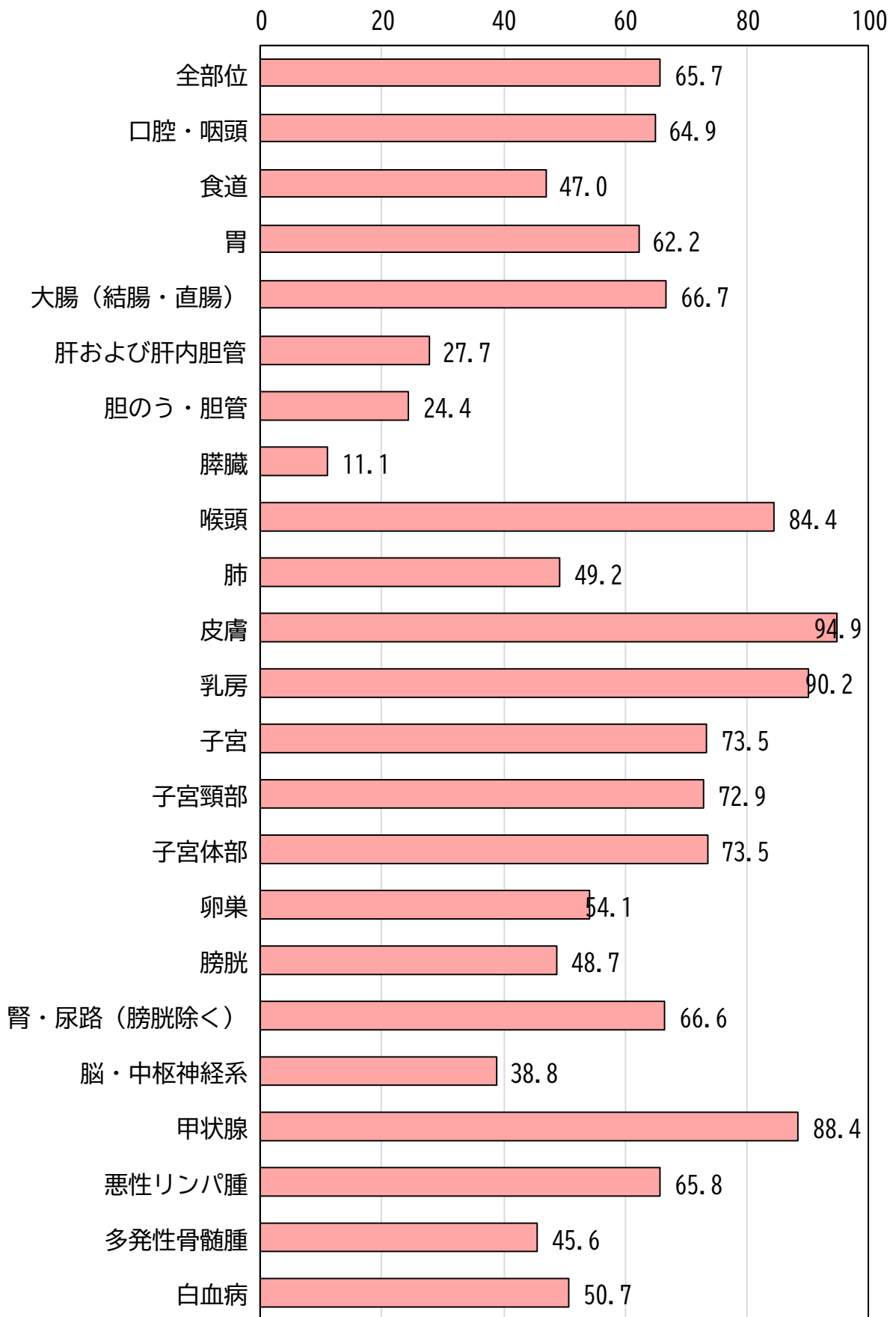
7 5年相対生存率

5年相対生存率の集計は、届出から5年経過した罹患症例を対象として行っている。したがって今回の5年生存率算定の対象は、2017年1月1日から同年12月31日までに診断され、届出がなされた症例である。最終生存確認日は2022年12月31日である。

(1) 5年相対生存率 部位別 男性 (2017年罹患症例)



(2) 5年相対生存率 部位別 女性 (2017年罹患症例)



出典：全国がん登録

第2章 静岡県のがん登録事業

1 静岡県におけるがん登録事業の経緯

2011年8月、静岡県は、健康福祉部医療健康局疾病対策課（現 静岡県健康福祉部医療局疾病対策課。以下「県疾病対策課」という。）に地域がん登録室を設置し、静岡県全域をカバーする地域がん登録を開始した。この地域がん登録の使命は、静岡県におけるがん患者の発症、死亡及び医療状況の実態を調査することにより、がん罹患率、がん患者の受療状況、生存率等を把握し、がん対策の推進と医療水準の向上に資することであり、その達成に向けて、地域がん登録室では、①静岡県のがんの登録、②統計資料の作成、③統計資料の活用と提供を行ってきた。

その後、2016年4月、がん登録等の推進に関する法律（平成25年法律第111号。以下「法」という。）が施行され、全ての病院及び指定された診療所（以下「病院等」という。）が届け出る全国がん登録の仕組みが整備され、これまでの地域がん登録は全国がん登録に引き継がれることとなった。これに伴い、県疾病対策課では、地域がん登録室をがん登録室に改め、全国がん登録に関する業務を実施している。

2 全国がん登録事業の概要

(1) 目的

全国がん登録は、がん医療の質の向上、がんの予防の推進、情報提供の充実及びその他のがん対策を科学的知見に基づき実施するため、がんの罹患、治療、転帰等の状況を把握し、分析することを目的とする。

(2) 対象及び客体

法により、がんの初回の診断が行われたとして病院等から知事に届け出られた者及び市町長から報告される死亡者情報票によって把握されたがんによる死亡者を対象としている。

本概要は、2016年から2020年までに本県において診断された日本人及び外国人の事象を客体としている。

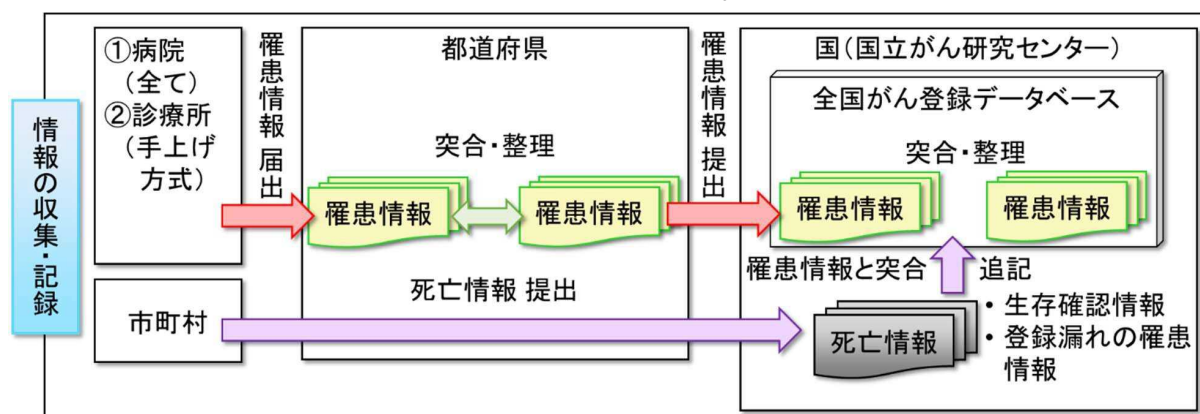
(3) 実施の方法

病院等の管理者は、届出対象となっているがんの診断又は治療をした場合に届出票を作成し、知事を介して厚生労働大臣に提出する。市町長は、死亡の届書（死亡届及び死亡診断書等）に基づいて死亡者情報票を作成し、知事を介して厚生労働大臣に提出する。厚生労働大臣は、提出された情報について照合等を行いデータベースに記録する。

なお、法第23条の規定によりこれらの厚生労働大臣の権限及び事務は、国立研究開発法人国立がん研究センター（以下「国立がん研究センター」という。）に委任されている。

また、市町長による死亡者情報票の提出については、「がん登録等の推進に関する法律に基づく死亡者情報票の作成について」（平成27年11月24日付け統発1124第

1号及び健発1124号第2号)において、人口動態調査の死亡票の作成及び提出することをもって代えることができるものとしている。



(4) 集計

集計は、国立がん研究センターにおいて行っている。

法第2条によって定められた届出対象となる疾患を、「国際疾病分類腫瘍学第3版」により分類し、「疾病、傷害及び死因の統計分類提要 ICD-10 (2013年版) 準拠」に変換した統計分類によって集計している。

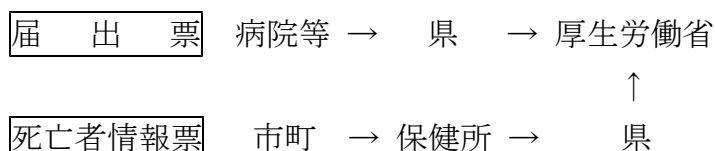
全国がん登録では、原発のがんを登録している。また、1人の人で、独立した2種類以上のがんが発見されることがある。その場合、それぞれのがんを独立して数えるため、延べ人数である。

3 調査票

(1) 届出項目一覧

項目番号	項目名	区分
1	病院等の名称	
2	診療録番号	
3	カナ氏名	
4	氏名	
5	性別	1 男 2 女
6	生年月日	
7	診断時住所	
8	側性	1 右側 2 左側 3 両側 7 側性なし 9 不明 (原発側不明を含む)
9	原発部位	テキスト又は ICD-0-3 局在コードによる提出
10	病理診断	テキスト又は ICD-0-3 形態コードによる提出
11	診断施設	1 自施設診断 2 他施設診断
12	治療施設	1 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介又はその後の経過不明 2 自施設で初回治療を開始 3 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 4 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 8 その他
13	診断根拠	1 原発巣の組織診 2 転移巣の組織診 3 細胞診 4 部位特異的腫瘍マーカー 5 臨床検査 6 臨床診断 9 不明
14	診断日	自施設診断日又は当該腫瘍初診日
15	発見経緯	1 がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 3 他疾患の経過観察中の偶然発見 4 剖検発見 8 その他 9 不明
16	進展度・治療前	400 上皮内 410 限局 420 領域リンパ節転移 430 隣接臓器浸潤 440 遠隔転移 777 該当せず 499 不明
17	進展度・術後病理学的	400 上皮内 410 限局 420 領域リンパ節転移 430 隣接臓器浸潤 440 遠隔転移 660 手術なし又は術前治療後 777 該当せず 499 不明
18	外科的治療の有無	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明
19	鏡視下治療の有無	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明
20	内視鏡的治療の有無	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明
21	外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲	1 腫瘍遺残なし 4 腫瘍遺残あり 6 観血的治療なし 9 不明
22	放射線療法の有無	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明
23	化学療法の有無	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明
24	内分泌療法の有無	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明
25	その他の治療の有無	1 自施設で施行 2 自施設で施行なし 9 施行の有無不明
26	死亡日	

(2) 届出票及び死亡者情報票の届出経路



(3) 電子届出票PDF

発行日付

有効期限

年 月 日

<<チェックが完了していません>>
右下の「確定」ボタンを押してください

全国がん登録 届出申出書

届出種別を選択してください

届出種別	<input checked="" type="checkbox"/> 届出票	<input type="checkbox"/> CSVファイル添付
------	---	------------------------------------

電子届出ファイルの使い方

■届出票

1. 届出申出書に病院・届出担当者情報を入力してください
2. 届出票に情報を入力してください
※最大10件まで入力できます
3. 「確定」ボタンを押して、PDFファイルを保存してください

■CSVファイル添付

1. 届出申出書に病院・届出担当者情報を入力してください
2. CSVファイルを添付してください
3. 「確定」ボタンを押して、PDFファイルを保存してください

病院・届出担当者情報を入力してください

都道府県 病院等の名称	
病院等の所在地	
管理者氏名	
届出担当者氏名	
届出担当者電話番号	
届出担当者メールアドレス	
届出担当者FAX	
届出票件数	
添付ファイル件数	
添付ファイル内件数	
コメント	

(全半角256文字)

初期化

確定

電子届出票PDF (続き)

チェックすると入力できるようになります

全国がん登録届出票①

①病院等の名称		13009_東京都_病院			
②診療録番号		1 2 3 4 5 (全半角16文字)			
③カナ氏名		シ	コクリツ (全角カナ10文字)	メイ	タロウ (全角カナ10文字)
④氏名		氏	国立 (全角10文字)	名	太郎 (全角10文字)
⑤性別		<input checked="" type="checkbox"/> 1. 男性 <input type="checkbox"/> 2. 女性			
⑥生年月日		<input checked="" type="checkbox"/> 0. 西暦 <input type="checkbox"/> 1. 明 <input type="checkbox"/> 2. 大 <input type="checkbox"/> 3. 昭 <input type="checkbox"/> 4. 平 <input type="checkbox"/> 5. 令 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日			
⑦診断時住所		都道府県選択		東京都 (全半角40文字)	
		市区町村以下		中央区築地	
腫瘍の種類	⑧側性	<input type="checkbox"/> 1. 右 <input type="checkbox"/> 2. 左 <input type="checkbox"/> 3. 両側 <input checked="" type="checkbox"/> 7. 側性なし <input type="checkbox"/> 9. 不明			
	⑨原発部位	大分類	脳、脊髄、脳神経その他の中枢神経系		
		詳細分類	大脳		C71.0
⑩病理診断	組織型・性状	海綿状血管腫		9121/0	
診断情報	⑪診断施設	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 自施設診断 <input type="checkbox"/> 2. 他施設診断			
	⑫治療施設	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で初回治療を開始 <input type="checkbox"/> 3. 他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 <input type="checkbox"/> 4. 他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 <input type="checkbox"/> 8. その他			
	⑬診断根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 原発巣の組織診 <input type="checkbox"/> 2. 転移巣の組織診 <input type="checkbox"/> 3. 細胞診 <input type="checkbox"/> 4. 部位特異的腫瘍マーカー <input type="checkbox"/> 5. 臨床検査 <input type="checkbox"/> 6. 臨床診断 <input type="checkbox"/> 9. 不明			
	⑭診断日	<input checked="" type="checkbox"/> 0. 西暦 <input type="checkbox"/> 4. 平 <input type="checkbox"/> 5. 令 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日			
	⑮発見経緯	<input checked="" type="checkbox"/> 1. がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 <input type="checkbox"/> 3. 他疾患の経過観察中の偶然発見 <input type="checkbox"/> 4. 剖検発見 <input type="checkbox"/> 8. その他 <input type="checkbox"/> 9. 不明			
進行度	⑯進展度・治療前	<input checked="" type="checkbox"/> 400. 上皮内 <input type="checkbox"/> 410. 限局 <input type="checkbox"/> 420. 領域リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430. 隣接臓器浸潤 <input type="checkbox"/> 440. 遠隔転移 <input type="checkbox"/> 777. 該当せず <input type="checkbox"/> 499. 不明			
	⑰進展度・術後病理学的	<input checked="" type="checkbox"/> 400. 上皮内 <input type="checkbox"/> 410. 限局 <input type="checkbox"/> 420. 領域リンパ節転移 <input type="checkbox"/> 430. 隣接臓器浸潤 <input type="checkbox"/> 440. 遠隔転移 <input type="checkbox"/> 660. 手術なし・術前治療後 <input type="checkbox"/> 777. 該当せず <input type="checkbox"/> 499. 不明			
初回治療	観血的治療	⑱外科的	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明		
		⑲鏡視下	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明		
		⑳内視鏡的	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明		
	⑳観血的治療の範囲		<input checked="" type="checkbox"/> 1. 腫瘍遺残なし <input type="checkbox"/> 4. 腫瘍遺残あり <input type="checkbox"/> 6. 観血的治療なし <input type="checkbox"/> 9. 不明		
	その他治療	㉑放射線療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明		
		㉒化学療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明		
		㉓内分泌療法	<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明		
㉔その他治療		<input type="checkbox"/> 1. 自施設で施行 <input type="checkbox"/> 2. 自施設で施行なし <input checked="" type="checkbox"/> 9. 施行の有無不明			
㉕死亡日		<input type="checkbox"/> 0. 西暦 <input type="checkbox"/> 4. 平 <input type="checkbox"/> 5. 令 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日			
備考					

(全半角128文字)

4 登録対象の範囲

全国がん登録事業の登録対象は次に示す範囲である。

(1) 地域範囲

日本国内に属する地域に設置された病院等

(2) 登録対象の地域的属性

診断時住所が前掲の地域。外国、不明を含む。

(3) 登録対象の人的範囲

国籍が日本、外国、不明を含む。

(4) 届出期間

各年1月1日～同年12月31日に診断及び／又は治療されたもののうち、原則として翌年の12月31日までに届け出られたもの

(5) 届出対象のがん

ア 悪性新生物及び上皮内がん

イ 髄膜又は脳、脊髄、脳神経その他の中枢神経系に発生した腫瘍（悪性腫瘍及び上皮内がんを除く。）

ウ 卵巣腫瘍（次に掲げるものに限る。）

境界悪性漿液性乳頭状のう胞腫瘍

境界悪性漿液性のう胞腺腫

境界悪性漿液性表在性乳頭腫瘍

境界悪性乳頭状のう胞腺腫

境界悪性粘液性乳頭状のう胞腺腫

境界悪性粘液性のう胞腫瘍

境界悪性明細胞のう胞腫瘍

エ 消化管間質腫瘍（悪性腫瘍及び上皮内がんを除く。）

詳細については、「全国がん登録届出マニュアル」の最新改訂版を参照のこと。

(6) 死亡者新規がん情報に関する通知の範囲

死亡者情報票において、原死因として選択された死因を、同定後の患者の死因とするとともに、死亡者情報票と全国がん登録データとの照合において、同定できなかった死亡者については、死亡者新規がん情報として、厚生労働大臣が知事に通知し、知事は、当該死亡者情報の元となった死亡診断書を作成した病院等に対して、診断時情報の有無を調査するとともに、全国がん登録の届出対象であった場合には届出を促す（法第14条 遡り調査）。

5 用語等の解説

(1) 用語の解説

がん罹患：がんの診断又は治療をした病院等からの届出並びに市町からの死亡者情報票を審査整理し、同一人を名寄せし、同一人において同じがんを集約したもの

(2) 比率の解説

$$\text{部位割合} = \frac{\text{部位別年間がん罹患数}}{\text{年間がん罹患数}} \times 100$$

$$\text{粗罹患率} = \frac{\text{年間がん罹患数}}{\text{10月1日現在総人口}} \times 100,000$$

$$\text{年齢調整罹患率} = \frac{\left\{ \begin{array}{l} \text{観察集団の各年齢} \\ \text{(5歳年齢階級)の罹患率} \end{array} \right\} \times \left\{ \begin{array}{l} \text{基準人口集団のその年齢} \\ \text{(5歳年齢階級)の人口} \end{array} \right\} \text{の各年齢(5歳年齢階級)の総和}}{\text{基準人口集団の総数}}$$

※年齢調整罹患率は、人口構成の異なる集団間での罹患率を比較するために、年齢階級別罹患率を一定の基準人口(昭和60年モデル日本人口及び世界モデル人口)にあてはめて算出した指標である。

<p>(参考)</p> <p>罹患率や死亡率は年齢によって異なるので、国際比較や年次推移の観察には、人口の年齢構成の差異を取り除いて観察するために、年齢調整死亡率を使用することが有用である。</p> <p>年齢調整罹患率又は死亡率の基準人口については、昭和60年モデル人口(昭和60年国勢調査日本人人人口をもとに、ベビーブーム等の極端な増減を補正し1,000人単位で作成したもの)を使用している。なお、計算式中の「観察集団の各年齢(年齢階級)の罹患率又は死亡率」は、1,000倍されたものである。</p>	基準人口—昭和60年モデル日本人口—			
	年齢	基準人口	年齢	基準人口
	0～4歳	8180000	50～54	7616000
	5～9	8338000	55～59	6581000
	10～14	8497000	60～64	5546000
	15～19	8655000	65～69	4511000
	20～24	8814000	70～74	3476000
	25～29	8972000	75～79	2441000
	30～34	9130000	80～84	1406000
	35～39	9289000	85歳以上	784000
40～44	9400000			
45～49	8651000	総数	120287000	

$$\text{累積罹患率} = \frac{\text{観察集団の各年齢(5歳年齢階級)の粗罹患率} \times \text{各年齢(5歳年齢階級、0歳～74歳)の総和}}{1,000}$$

※累積罹患率は、1人がその年齢別罹患率で一定の年齢までにがんに罹る割合に相当する。

$$\text{年齢階級別罹患率} = \frac{\text{観察集団の各年齢(年齢階級)の罹患数}}{\text{その年齢(年齢階級)の人口}} \times 100,000$$

$$\text{標準化罹患比} = \frac{\text{市町の5年間罹患数}}{\text{(静岡県の5年間粗罹患率} \times \text{市町の5年間当該年齢階級別人口)の総和}} \times 100$$

(対県)

$$\text{MI比} = \frac{\text{人口動態統計に基づく年間がん死亡数}}{\text{年間がん罹患数}}$$

※Mortality/Incidence (MI)比は、死亡統計を完全とし、生存率を一定とした仮定した場合の、罹患数の完全性の指標である。

$$\text{DCI \%} = \frac{\text{死亡情報のみの症例及び遡り調査で「がん」が確認された症例}}{\text{年間がん罹患数}} \times 100$$

※Death Certificate Initiated (DCI)%は、罹患統計の完全性の指標である。

$$\text{DCO \%} = \frac{\text{死亡情報のみの症例}}{\text{年間がん罹患数}} \times 100$$

※Death Certificate Only (DCO)%は、罹患統計の質の指標である。

$$\text{MV \%} = \frac{\text{病理学的裏付け(原発巣又は転移巣の組織診若しくは細胞診)のある症例}}{\text{年間がん罹患数}} \times 100$$

※Morphologically Verified (MV)%は、罹患統計の質の指標である。

$$\text{HV \%} = \frac{\text{組織学的裏付け(原発巣又は転移巣の組織診)のある症例}}{\text{年間がん罹患数}} \times 100$$

※Histologically Verified (HV)%は、罹患統計の質の指標である

付録

2016～2020年症例標準集計表

こちらの標準集計表は、静岡県疾病対策課のウェブページ（以下の二次元コード）にデータを掲載しています。

なお、各年の表42-A、B（年齢階級別罹患数：市区町村別、性別）及び表62-A、B（年齢階級別罹患数：医療圏、保健所別、性別）は、ウェブページへの掲載のみとなっております。

